



試すっ子

学校教育目標「試す人になろう」 No. 4



「いのちについて考える日」

浜松市では毎年6月12日を基準日として「いのちについて考える日」を設定し、いじめの問題や命の尊さ、人間としての尊厳について考える取り組みを発達段階に応じて実施することになっています。

6月の朝会の折に、「電池が切れるまで」(角川つばさ文庫 宮本雅史作 みやこしゆきな絵)を紹介しながら子供たちに命の大切さについて自分の言葉で考えるよう投げかけました。※以下校長の話概要

みやこしゆきなさんは病院の院内学級で一生懸命治療を続けながら勉強していました。ゆきなさんにも夢があり、やりたいことがいっぱいありました。でも、病気のため、11歳で亡くなってしまいました。ゆきなさんは命の大切さを本当に知っていた人の一人だといえます。改めてゆきなさんが亡くなる4か月前、4年生のときに書いた詩を紹介します。

命 命はとても大切だ 人間が生きるための電池みたいだ でも電池はいつかはなくなる
電池はすぐにとりかえられるけど 命はそう簡単にとりかえられない
何年も何年も 月日がたってやっと 神様から与えられるものだ
でも「命なんかいらない」と言って 命をむだにする人もいる まだたくさん命が使えるのに
そんな人を見ると悲しくなる 命は休むことなく働いているのに
だから 私は命が疲れたというまでせいいっぱい生きよう。 みやこし ゆきな

ゆきなさんはこの詩を書いた4か月後に亡くなってしまいました。その日まで精一杯前向きに生き抜いたのです。そんなゆきなさんを温かく見守り、応援してきたご家族の悲しみは途方もなく大きかったと思います。

病院で入院していたゆきなさんのまわりは、にがい薬を飲み、痛い治療も我慢してがんばって生き抜こうとしている子ばかりでした。それでも昨日まで一緒に遊んでいた友達が突然いなくなることもあります。ゆきなさんは思ったそうです。「生きたくても生きられない子がいるのに なんて自殺したり、人を殺したりするのかなあ なんてお友達をいじめるの」電池で動く道具やおもちゃなら電池が切れても入れ替えればまた動きます。でも私たち人間を含めて生き物は、命がなくなったら死んでしまいます。命は入れ替えがききません。

ゆきなさんの「生きたくても生きられない人がいるのに」「私は命が疲れたというまで精一杯生きよう」この思いをみんなで受け止めたいですね。試すっ子としてゆきなさんの思いをいつも心に留めて友達や家族、いろいろな人と関わってください。そして、自分の夢や目標に向けて頑張ってください。

道徳、校長の話から子供たちが考えたこと(3年生)を紹介します。

- ・やっぱり命は絶対にもどってこない。お父さん、お母さんが大切に守りながら育ててくれているから自分で自分を傷つけたらむだに自分が苦しむだけだから命は大切にしないといけない。
- ・私は病気のおばあちゃんがいて、命は大切にしないくちやだめと言われているので絶対に命は大切にしないと思った。
- ・友達やほかの人が悲しんでいたたり、苦しんでいたたりしたら助けようと思いました。
- ・お母さんが一生懸命がんばってくれていて自分たちを成長させていてくれているから自分たちの命や人の命を大切にします。
- ・お母さんが一生懸命産んでくれたから命を大事にしないとだめだと思います。命の勉強をして命は大切にしないとだめなんだとみんなも分かってほしいです。

- ・先生の話聞いていじめや悪口を絶対にやめようと心に決めました。友達の言葉が心に響きました。
- ・命は一人一人の大切なもの。命を落としたら取り返しがつかない。もし自分の命がなくなったらお父さんやお母さんやいろいろな人たちが悲しむから一生懸命がんばる。
- ・ぼくは、この命はいっぱい御先祖様がいてくれたからこそあるのを知って、命の大切さが分かった。
- ・命は一度きりなのにむだにしたり、イライラしてるからといって相手にその気持ちをぶついたり、言われて傷つくことを言って自分もいやな気持ちになったりするのはいけません。

未来に向け、安全・安心で魅力ある環境を作っていくためには、人権意識の高揚と自他の命を大切に
する心をしっかり育てていく必要があります。御家庭におかれましても、適時を押さえ、このことについて
話題にしていだけたらと思います。

子供たちの様子 学校の様子(6月)



試すっ遊び

縦割りグループごとに集まって楽しい時間を過ごし、「仲間をつくる力」を高めます。



福祉体験4年生

白杖、アイマスク、車椅子を使った体験をして、福祉について理解を深めました。



避難訓練(土砂災害)

校舎裏の崖の崩壊を想定して、1階で勉強している1年生が垂直避難訓練をしました。



浜松探検6年生

浜松市街3つのコース(浜松復興記念館、犀ヶ崖資料館、楽器博物館)に分かれて活動しました。



森林組合見学5年生

環境についての追求活動に生かすため、天竜森林組合の見学をさせていただきました。



得意なこと披露3年生

得意なことを披露し合い、お互いのよさを知るイベントを自分たちで企画運営しました。



杉の子の日

毎月20日を基準日として地域の方々が校門のところで子供たちを温かく迎えてくださっています。



交通安全を語る会

保護者、警察、交通指導員、SGLの方々の協力を得て、交通安全リーダーとしての実践力を高めました。



食育講座2年生

笑顔畑の山ちゃんファームの山下さん夫妻を講師にお迎えし、食べ物大切さについて学びました。

資源回収(鏡山地区 6/9~6/16 光明地区 6/22)への御協力ありがとうございました。

地域や保護者の皆様の御協力のおかげでたくさんの資源物が集まりました。収益金は、子供たちの教育活動のために有効に使わせていただきます。